

平成 28 年度四国高等学校ゴルフ選手権大会 第 32 回高校団体の部

兼 平成 28 年度全国高等学校ゴルフ選手権大会

文部科学大臣旗争奪 第 37 回高校団体の部四国予選

【競技の条件】

1. ゴルフ規則

2016 年度日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用球

プレーヤーの使用球は R & A 発行の最新の公認球リストに載っているものでなければならない。この競技の条件の違反の罰は競技失格とする。

4. 使用クラブの規格

R & A の発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに名前が掲載されているクラブヘッド(モデルやロフトによって識別される)を有していなければならない。本条件違反の罰や処置は「ゴルフ規則付 I (B) 1 a」を適用する。溝の規制については「ゴルフ規則付 II 5」を適用する。

5. 競技終了 競技委員長の成績発表をもって競技終了とする。

6. ホールとホール間での練習禁止

「ゴルフ規則付 I (c) 5 b」を適用する。

7. プレーの中断と再開

(1) プレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則 6-8 b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレーの再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格となる。この条件の違反の罰は、競技失格(ゴルフ規則 6-8 b 注)。

(3) プレーの中断と再開の合図について

競技委員会で決定後、競技委員によって知らせる。

8. 移動 正規のラウンド中の移動について「ゴルフ規則付 I (c) 8 移動」を適用する。

9. キャディ 正規のラウンド中、競技者のキャディ使用は禁止する。この条件の違反の罰は、「ゴルフ規則付 I (C) 2 キャディ」を適用する。

10. 競技の短縮

コースの状態が適正なるプレー不可能と判断したときは、競技規定に定めてあるホール数を短縮することができる。

11. 使用ティー

本競技のティーマークは男子は黒マーク、女子は MS マークとする。

【ローカルルール】

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
3. クローズド (Closed) の標示のある予備グリーンは、プレー禁止の修理地 (スルーザグリーン) とし、その上に球が止まっているか、またはスタンスがかかる場合は、プレーヤー、規則第 25 条第 1 項 b (i) を適用しなければならない。
4. ウォーターハザードは黄杭、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭をもってその限界を標示する。
5. 排水溝は動かさない障害物とする。
6. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
7. 固定式スプリンクラーヘッドはすべて動かさない障害物であり、これらのものによる障害からの救済はゴルフ規則 24-2 により受けることができる。その他にも、球がグリーン外のハザード内でないところにある場合で、そのような障害物 (スプリンクラーヘッド) が (イ) グリーン上か、またはグリーンから 2 クラブレングス以内にあり、(ロ) 球からも 2 クラブレングスの範囲内で、しかも (ハ) 球とホールを結ぶプレーの線上にかかっている時は、競技者は吹のような救済を受けることができる。その球は拾い上げて、(a) ホールに近づかずに、(b) そのような障害を避けられる、(c) ハザード内でもグリーン上でもない場所で、球のあった箇所に最も近い所にドロップしなければならない。拾い上げた球は拭くことができる。このローカルルールの違反の罰は、2 打。
8. 大会期間中 (3 日間) は、距離測定器の使用を禁止する。(公式練習日も含む)

【注意事項】

1. 競技の条件またはローカルルールに追加、変更のある時は、スタートに掲示し告示する。
2. ハーフターン時は、パッティンググリーンのみ使用できる。
3. 練習は指定練習グリーンにて行うこと。なお打球練習場はありませんのでご注意ください。
4. スタート時刻 30 分前には受付を済ませ、スタート 10 分前には、必ずティグラウンド周辺に待機すること。
5. ハーフプレー 2 時間 10 分を目安に進行させ、先行組との間隔を不当にあげないように注意のこと。プレーの不当な遅延については、ペナルティを課す。
6. ハーフ休憩あり。選手はハーフ終了後、マスター室にてスタート時間の確認を必ず行うこと。
7. コース内のパター練習場は 17:30 まで使用可能とする。
8. コース内への携帯電話などの通信機器の持ち込みは禁止とする。
9. 選手は上記以外に、服装・エチケット・マナー等、日本高等学校ゴルフ連盟の競技規則を遵守する。
10. クラブハウス内でのマナーが悪い場合、ペナルティを課すことがあるので注意すること。

競技委員長